

< 社外極秘 >

## 調査報告書

### 調査報告書取扱規定

- 調査報告書は、弊社が独自に収集した秘密または財産的価値のある情報を含んでおり、当該情報に対する一切の権利は弊社に帰属します。従って、貴社（殿）の内部資料としてのみご利用いただき、外部への資料持ち出しその他の手段により、調査報告書の内容を第三者に漏らすことは禁止します。
- 調査報告書の著作権は弊社に帰属します。調査報告書の複製、貸与、翻訳その他弊社の著作権を侵害する行為は一切禁止します。
- 万一、貴社（殿）が第1項または第2項の定めに違反して調査報告書の内容を第三者に漏らしたため、弊社に対し何らかの紛議が生じ、もしくは貴社（殿）が弊社の著作権を侵害し、これによって弊社が損害を被ったときは、その損害は貴社（殿）に賠償していただきます。（損害賠償に関して貴社（殿）と弊社の間には訴訟の必要が生じたときはソウル中央地方法院を管轄裁判所とします。）
- 弊社は、調査報告書の内容について損害賠償の責を負いません。

## サマリー

## スター製菓食品 株式会社

フリガナ | スタジエグァシクプム チュシクフェサ  
 商号 | 스타제과식품 주식회사  
 英文商号 | STAR CONFECTIONERY & FOODS CO., LTD.  
 漢字商号 | スター製菓食品 株式会社  
 フリガナ | キム ソンホ 英 文 : KIM SEONG-HO  
 代表者 | 김 성호 漢 字 : 金 成浩  
 所在地 | 06221 ソウル特別市江南区テヘラン路230(駅三洞)  
 [登記面] ソウル特別市江南区テヘラン路230(駅三洞)  
 電話番号 | 02-000-0000 F A X : 02-000-0000  
 U R L | <http://www.>

### ■ 会社基本情報

■ 企業区分 : ◎ 法人 ( 上場 KOSDAQ KONEX ◎ 外監 一般 ) 個人  
 ■ 創 業 : ■ 設 立 : 1999年06月05日 ■ 再 開 :  
 ■ 資 本 金 : 18,800百万ウォン  
 ■ 事業内容 : お菓子、アイスクリーム、冷凍食品類の製造、販売を主たる事業としている。

■ 主 業 : C10713 菓子類及びココア製品製造業  
 ■ 取引銀行 : ウリ(駅三洞)、ハナ(江南)、新韓、国民  
 ■ 従業員数 : 135名  
 ■ 仕 入 先 : (株)マッスター食品、永進食品流通(株)、(株)プロフード  
 ■ 得意先 : ビクトリーマート(株)、鍾路ショッピング(株)、(株)龍仁フード  
 ■ 系 列 : -  
 ■ 事業者登録番号 : 000-00-00000 ■ 法人番号 : 000000-0000000

### ■ 業績推移 (単位: 百万ウォン)

(増加率%)	2017年12月		2018年12月		2019年12月	
売上高	45,064	20.1	58,370	29.5	73,083	25.2
営業利益	909	309.5	2,400	164.0	2,802	16.8
税 前 純 利 益	1,074	91.1	2,806	161.3	3,427	22.1
当 期 純 利 益	1,529	539.7	2,236	46.2	2,722	21.7
配 当 総 額	0		0		0	

### ■ 事業構成 [主要分] (単位: %)

	2017年12月	2018年12月	2019年12月
菓子類	75.0	70.0	70.5
アイスクリーム類	15.7	20.7	21.3
冷凍食品	9.3	9.3	8.2

### ■ 評 価

#### ■ 信用要素別評価

業 歴 (1~5)	5	企業活力 (4~ 19)	10
資本構成 (0~12)	8	加 点 (+1~ +5)	-
規 模 (2~19)	12	減 点 (-1~ -10)	-
損 益 (0~10)	10	合 計 (100)	64
資金現況 (0~20)	9		
経 営 者 (1~15)	10		

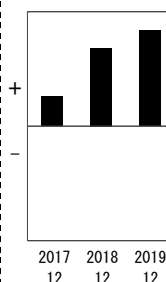
#### ■ 信用程度

A (86~ 100)
B (66~ 85)
◎ C (51~ 65)
D (36~ 50)
E (35以下)

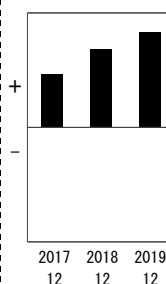
売上高



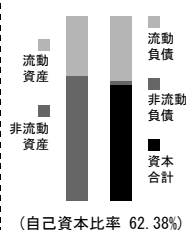
税 前 純 利 益



当 期 純 利 益



財務状態表



(自己資本比率 62.38%)

サマリー

スター製菓食品 株式会社

■ 備考

■ 備考

本店英文住所：(Yeoksam-dong) 230, Teheran-ro, Gangnam-gu, Seoul

この報告書は商品見本であり、内容については実在する会社・個人とは一切関係ありません。

《以下空白》

## ■ 登記および許認可・免許関係事項

■ 発行可能株式数 : 10,000,000 株

■ 発行済株数 : 3,760,000 株  
 譲渡制限 : 株  
 議決権制限 : 株

■ 一株の金額 : 5,000 ウォン

## ■ 資本金推移

(単位: 百万ウォン)

		変更年月
設立時	50	1999年06月
	600	2003年07月
	900	2004年08月
	1,050	2005年06月
額面分割	1,050	2010年01月
	1,300	2010年05月
数次の増資を経て	9,500	2012年01月
	10,000	2012年02月
	15,000	2013年07月
	18,000	2016年05月
	18,800	2017年09月

## ■ 資本金に関わる付記

2010年1月額面分割により一株の金額を10,000ウォンから5,000ウォンに変更。

## ■ 許認可・免許番号

種 類	番 号	備 考
ISO9001認証		2017年12月取得
ISO14001認証		2017年12月取得
CE認証		2018年05月取得
産業財産権		食品製造関連特許12件、実用新案5件、商標権4件、デザイン7件保有

## ■ 役 員

### ■ 役 員

役 名	氏 名	(* 印常勤)	担当業務	備 考
理事社長(代表)	* 金 成浩 (김 성호)		全般	
専務理事	* 李 ジング (이 진구)		製造総括	

理事	* 朴 ホングン (박 흥근)	営業総括
監事	金 ビチョル (김 비철)	

## ■ 役員付記

上記のほか非登記役員として5名がいる。

## ■ 大株主

### ■ 大株主および持株数

株主名	(※印上場)	持株数	比率(%)	備 考
金 成浩 (김 성호)		1,880,000	50.00	
金 ヒョンホ (김 현호)		940,000	25.00	
帝国創業投資(株) (제국창업투자(주))		940,000	25.00	ソウル特別市中区

■ 株主総数 : 3 名 ( 2020年10月 現在 )

### ■ 株主付記

ない。

《以下空白》

## ■ 従業員

## ■ 従業員数推移

(単位：名)	2018年12月	2019年12月	2020年10月
事務	10	11	15
生産	75	77	85
営業	30	32	35
その他			
従業員数合計	115	120	135

## ■ 従業員付記

生産には技術・研究人員が含まれている。

## ■ 設備概要

## ■ 設備概要

	2020年10月
営業所	1
工場	1
店舗	
その他	
(本店以外の)事業所数合計	2

事業所名	所在地
本店(事務所)	ソウル特別市江南区テヘラン路230(駅三洞)
土地:	400.00 m <sup>2</sup> 社有
建物:	450.00 m <sup>2</sup> 社有
主な拠点	所在地
梨峴工場(支店登記あり)	大邱広域市西区文化路21ギル(梨峴洞)
土地:	5,000.00 m <sup>2</sup> 社有
建物:	3,500.00 m <sup>2</sup> 社有
釜山営業所	釜山広域市中区中央路222、3階(富平洞、中央ビル)
土地:	
建物:	200.00 m <sup>2</sup> 借用

(単位：台)

車 両 5	自己所有	2	リース	3	その他
	乗用車	2	小型トラック	2	中型トラック
	大型トラック	1	その他		

■ 設備概要付記

ない。

■ 設備の新設・拡充計画

(単位：百万ウォン)

対象事業所	拡充対象	計画内容	所有形態	時期(年月)	地区	投資額
梨峴工場	生産設備	増設	社有	2020年12月	大邱広域市西区	1,500
調達方法：内部留保						
備考：						

■ 設備の新設・拡充計画付記

ない。

《以下空白》

代表者

スター製菓食品 株式会社

- 役職名：理事社長(代表)
- フリガナ：キム ソンホ
- 氏名：김 성호
- 生年月日：1957年11月23日
- 性別：男性
- 出身地：慶尚南道
- 現住所：04421 ソウル特別市龍山区二村路201(二村洞、ハンガラムアパート)
- 電話番号：-
- 出身校：釜山大学 貿易学科

英文代表者名：KIM SEONG-HO  
漢字代表者名：金 成浩

## 経歴

年月	経歴
1985年05月	日本明治製菓に入社(営業担当)。
1990年03月	サムミ製菓産業(株)に転じる(営業部)。
1995年07月	高麗製菓食品(株)の営業部長。
1999年06月	当社の設立に伴い代表理事に就任し、現在に至る。

## 関係事業・公職・その他

ない。

## 趣味・スポーツ

-

## 経営者タイプ

業界経験	◎ 10年以上	3年以上	3年未満		
経営経験	◎ 10年以上	3年以上	3年未満		
得意分野	◎ 営業	技術	経理	◎ 管理	
就任経緯	◎ 創業者	同族継承	買収	内部昇格	外部招へい
人物像	慎重 責任感が強い ◎ ビジョンがある 人脈が広い 話上手	包容力がある 技術指向が強い まじめ 機敏 企画力がある	カリスマ性に富む 独創的 ち密 ◎ 実行力がある 決断力に優れる	◎ 積極的 堅実 計数面不得手 金銭面にシビア 豪放磊落	一徹 先見性に富む 人情味に厚い 社交的 個性的

■ 経営者タイプ付記： ない。



代表者

スター製菓食品 株式会社

## ■ 自宅所有状況

社有    ◎ 自己所有    家族名所有    賃借    未詳    (    ◎ 登記確認    登記未確認 )

## ■ 自宅付記

建 物                      1 0 8 . 5 1 m<sup>2</sup>

## ■ 後継者

-

## ■ 代表者付記

ない。

《以下空白》

## ■ 資本関係

### ■ グループ

-

### ■ 資本関係

企業名・人名	(※印上場)	所在地	当社への 出資比率(%)
帝国創業投資(株) (제국창업투자(주))		ソウル特別市中区	25.00
備考：ベンチャー投資業、代表：洪ヨンピョ氏			

### ■ 関係会社

企業名・人名	(※印上場)	所在地	当社の 出資比率(%)
スター化学(株) (스타화학(주))		京畿道龍仁市	10.00
備考：包装材製造、代表：金ヒョンホ氏			

### ■ 資本関係、関係会社付記

ない。

## ■ 設立の経緯と特記事項

### ■ 設立の経緯

1999年6月に金成浩氏が菓子類の製造、販売を目的に設立したもので、初代代表理事に同氏が就任した。

### ■ 特記事項

年 月	特記事項
2003年06月	釜山事務所設置。
2004年10月	梨峴工場設置。
2008年05月	代表理事に李ジング氏が就任(2名代表)。
2010年09月	本店をソウル特別市瑞草区瑞草洞1580からソウル特別市江南区駅三洞720へ移転。
2011年10月	道路名住所への表記変更により本店住所がソウル特別市江南区駅三洞720からソウル特別市江南区テヘラン路230(駅三洞)に変更。
2011年12月	代表理事の李ジング氏がを退任(1名代表)。
2014年03月	上海製菓食品有限公司(現地食品貿易、流通法人)の持分(70%)を引受。

---

2017年01月	上海製菓食品有限公司の持分全量を売却。
2019年02月	梨峴工場増設。

---

---

《以下空白》

## ■ 業績の推移 (△=欠損)

(単位: 百万ウォン)

決算期	増加率 (%) 売上高	増加率 (%) 営業利益	増加率 (%) 税前純利益	増加率 (%) 当期純利益	配当総額
2014年12月	41,658	2,726	3,007	2,370	0
2015年12月	10.4	△26.4	6.5	△0.7	0
2016年12月	45,998	2,006	3,201	2,354	0
2017年12月	△18.4	△88.9	△82.4	△89.8	0
2018年12月	37,526	222	562	239	0
2019年12月	20.1	309.5	91.1	539.7	0
2020年12月	45,064	909	1,074	1,529	0
2021年12月	29.5	164.0	161.3	46.2	0
2022年12月	58,370	2,400	2,806	2,236	0
2023年12月	25.2	16.8	22.1	21.7	0
2024年12月	73,083	2,802	3,427	2,722	0

## ■ 減価償却費

(単位: 百万ウォン)

決算期	減価償却	備 考
2014年12月	1,230	
2015年12月	1,173	
2016年12月	1,028	
2017年12月	1,596	
2018年12月	1,494	
2019年12月	1,495	

## ■ 連結頂点企業

-

## ■ 業績付記事項

2018年12月期は、前期の下半期に新発売した高級アイスクリームの「スターデリシャス」が良い反応を得て製品販売が増加し業績をけん引した。また、主力の菓子類においても大型マート向けを中心にスナック類や高級チョコレートの販売が堅調に推移したことから、売上高は前期比29.5%の増収となった。

損益面では、乳脂類等の原材料仕入価格上昇、物流費や労務費など固定費が増加したが、新製品の販売好調に助けられ、粗利益率は18.15%と前期比2.51ポイント改善され、売上総利益は同比50.4%の105億94百万ウォンを計上した。

営業損益では、人件費や運搬費、広告宣伝費等を中心に諸経費が増額し販管費が前期比33.5%の支出増となったが、増収・増益効果は大きく、営業利益は同比164.0%増となった。

営業外損益勘定では、賃貸料収益、手数料収益など差引き4億6百万ウォンの収益超過となり、税前純利益は前期比161.3%増となった。ただ、当期純利益段階では前期のような法人税費用の戻入がなく、前期比46.2%増となった。

■ 連結業績

決算期	連結売上高	連結営業利益	連結税前純利益	連結当期利益
-----	-------	--------	---------	--------

《以下空白》

取引先

スター製菓食品 株式会社

## ■ 仕入先および外注先

### ■ 主要仕入先および外注先（支払先）

(単位: 百万ウォン)

品目	仕入先名 (※印上場)	所在地	年間取引高	備考
乳製品、脂類	※ (株)マッスター食品 ((주)맛스타식품)	ソウル特別市鍾路区	12,454	2019年12月期実績
砂糖	永進食品流通(株) (영진식품유통(주))	ソウル特別市江南区	4,885	2019年12月期実績
小麦粉、香料等	(株)プロフード ((주)프로푸드)	ソウル特別市龍山区	827	2019年12月期実績
	(株)パティスコリア ((주)파티스코리아)	京畿道城南市	707	2019年12月期実績
	ベトナム			
	中国			
	ほか			

■ 輸入: あり (直買, 間買)

■ 仕入先概数: 約40 社

### ■ 支払方法

主として	月末日 締切り、支払日 翌月末日	
現金	( 30日~60日 )	100%
手形	( 日~日 )	
裏書譲渡手形	( 日~日 )	

### ■ 仕入先付記

輸入方法はL/C(ユーザンスを含む)、T/Tベース。

## ■ 得意先

### ■ 主要得意先

品目	得意先名 (※印上場)	所在地	年間取引高	備考
菓子、アイスクリーム、	※ ビクトリーマート(株) (빅토리마트(주))	ソウル特別市城東区		
その他冷凍食品等	※ 鍾路ショッピング(株) (중로쇼핑(주))	ソウル特別市鍾路区		

取引先

スター製菓食品 株式会社

(株)龍仁フード	京畿道龍仁市
((주)용인푸드)	
国内食品流通業者	
中国	
日本	
東南アジア	
ほか	

■輸出：あり（直買）

■得意先概数：未詳 社

■回収方法

現金	( 30日~60日 )	75%
手形	( 60日~90日 )	25%

■得意先付記

一部前受金がある。  
輸出方法はL/C、T/Tベース。

《以下空白》

## ■ 銀行取引等

### ■ 借入状況

[ 2019年12月 現在 ]

借入先	(◎印主力銀行)	割引手形	短期借入金	長期借入金	定期預金
◎ ウリ(駅三洞)					
ハナ(江南)					
新韓					
国民					
(合 計)					

### ■ 社長・役員・関係会社からの借入

借入先	金額	備考
		ない。
(合 計)		

### ■ 社債

種類	発行日	満期日	金利	金額	目的
備考:	ない。				
(合 計)					

### ■ 担保設定状況

◎ 不動産	[ ◎ 社 有	代表所有	その他 ]
有価証券	◎ 保 証	預 金	信 用
その他			保証協会

### ■ 主力行の変更

ない。

### ■ 貸付金

(単位: 百万ウォン)

貸付先	金額	備考
スター化学(株)	10	長期貸付金
(合 計)	10	



## ■ 銀行取引等付記

社有の本店事務所及び梨峴工場を担保提供し、代表理事及び信用保証基金の支給保証を得て借入を興していたが、近年の業況が堅調に推移し借入金を完済している。

その他に、一般運転資金や貿易金融(信用状開設)等と関連し、ウリ銀行(駅三洞)及びハナ銀行(江南)、新韓銀行と合計87億50百万ウォンの借入限度約定を締結している。

## ■ 資金現況

## ■ 資金現況

業況(売上)	大幅増加	増加	◎横ばい	減少
収益性	良好	◎普通	悪いが改善可能	悪く改善困難
回収状況	良好	◎普通	一部遅延	遅延
支払能力	十分にあり	◎あり	やや苦しい	苦しい
資金需要動向	◎なし	前向き資金需要あり	後向き資金需要あり	
資金調達余力	十分にあり	◎あり	ほぼ限界	限界

## ■ 資金現況付記

業況(売上)について、内需景気沈滞による消費不振の中でスタートし製品販売が全般的に伸び悩んでいたものの、期中に梨峴工場設備を増設し下半期に入ってオーガニックやロー添加剤のプレミアム製品を新発売した効果が徐々に現れていることから、売上高は前期に比べ約3%の増収を見込んでいることから、上記とした。

資金調達余力については、近年の本業が堅調に推移し借入金を完済しており、本店不動産が担保無設定状態で担保力が窺える。また、設立して21年余の業歴を有している製菓専門企業として相応の営業基盤を構築し経営面でも大きな揺れなく安定している点を考慮し、上記マーキングした。

## ■ 不良債権付記

ここ最近、特記すべき不良債権の発生はないようである。

《以下空白》

## ■ 事業構成

(単位：%)	2017年12月	2018年12月	2019年12月
菓子類	75.0	70.0	70.5
アイスクリーム類	15.7	20.7	21.3
冷凍食品	9.3	9.3	8.2

## ■ 事業内容

お菓子、アイスクリーム、冷凍食品類の製造、販売を主たる事業としている。

主要製造品目としては、各種スナック、ビスケット、クラッカー、チョコレート、キャンディー、ガム等の菓子類、氷菓子、コーン及びカップ型アイスクリーム、シャーベット等のアイスクリーム類、ピザ、揚げ物等の冷凍食品類に大別されており、代表ブランドは商号と同じ「STAR」と「MILKY WAY」が消費者に知られている。

2019年12月期の売上構成比率については、菓子類売上70.5%(2018年12月期70.0%)、アイスクリーム類売上21.3%(同20.7%)、冷凍食品売上8.2%(同9.3%)となっている。

販路については、国内が約80%、輸出が約20%と内需中心の営業構造となっており、国内大型マートを中心に工産食品流通業者等向けを主力として中国、日本、東南アジア等にも輸出している。

## ■ 会社の特色

1999年6月に現代表の金成浩氏が製菓業界で長年勤めたキャリアを生かし、前職時代の同僚らと意気投合して設立したもので、21年余の業歴を有している菓子類専門メーカーである。

設立当時から金代表の営業ノウハウと人的ネットワークを活用しながら国内大型マートや食品流通業者向けの堅い営業基盤を構築し業容を拡大してきたものの、近年の国内製菓市場は国内外の多くのメーカーが激しく競争しているため、消費者の好みに合わせた新規製品開発と設備投資が先行される傾向が目立っている。

当社側としても昨今の消費トレンド、中国や日本、東南アジア等海外消費者の口当たり、人体に優しいプレミアム(オーガニック)食品作りに研究力量を集中しているようで、設立以後成長期まではメイン製品の主消費層を児童から10代に絞っていたものの、児童人口が持続的に減少しており、多様な代替財も増加している関係で、製菓産業の成長が多少鈍化する様相に注目しており、グローバル企業との技術提携を通じた品質向上、技術的ノウハウ蓄積などで事業競争力強化に積極的に取り組んでいる。

## ■ 最新期の業績

2019年12月期については、国内景気沈滞による消費心理委縮、輸入製菓流通網の急激な拡大などで営業環境は厳しい中であつたが、高い成長勢を見せているアイスクリーム製品類が堅調に推移し、新発売製品の市場反応も良かったようで、売上高は前期比25.2%増の730億83百万ウォンとなった。

損益面では、国際穀物価格上昇のほか製造関連固定費の負担が増し、粗利益率は18.02%と

前期比0.13ポイント低下したが、増収効果を得て、売上総利益は同比24.3%増の131億72百万ウォンを計上した。

営業損益では、引き続き運搬費や広告宣伝費等が増額し販管費が前期比26.5%増となり、営業利益は同比16.8%増の28億2百万ウォンとなった。

営業外損益勘定では、利子収益や賃貸料収益、手数料収益などで費用をカバーし差引き6億24百万ウォンの収益超過となり、税前純利益は前期比22.1%増の34億27百万ウォン、当期純利益は同比21.7%増の27億22百万ウォンとなった。

## ■ 資金現況と調達力

資金現況について、支払は現金主体で、回収面では一部手形(約25%)が混在しているが、概ね収支バランスを取っているようである。ただ、購買資金や貿易金融、在庫管理等の運転資金需要が発生しているほか、設備新・増設や新製品開発関連の投資も並行していることから、回収資金を原資にしながら不足分は内部留保資金で賄っているようである。なお、国内大型マートを主力得意先として確保し近年取引比重が高まっているだけに、概ね回収リスクは少なく取引は約定通りに行われていると見られる。

2019年12月期末時点の財務分析によれば、企業資本の安定性と効率性、収益性を測る項目の一部が業界平均値を割り込んだ状態となっているものの、自己資本比率62.38%、流動比率92.99%、非流動比率108.12%となっており、全般的に一定水準の財務体力を保持しているため、財務面の大きな懸念は感じられない。

調達力については、近年の本業が堅調に推移し借入金を完済しており、本店不動産が担保無設定状態で担保力が窺える。また、設立して21年余の業歴を有している製菓専門企業として相応の営業基盤を構築し経営面でも大きな揺れなく安定している点を考慮すれば、資金調達に格別問題はないと思われる。

## ■ 最近の動向と見通し

2020年12月期については、内需景気沈滞による消費不振の中でスタートし製品販売が全般的に伸び悩んでいたものの、期中に梨峴工場設備を増設し下半期に入ってオーガニックやロー添加剤のプレミアム製品を新発売した効果が徐々に現れていることから、売上高は前期に比べ約3%増の750億ウォン内外を見込んでいるようである。

損益面では、体に優しいプレミアム製品開発に関連し製品開発費用や原材料仕入コスト、その他固定費等が増加したが、プレミアム製品の販売増加で製品あたり収益性が向上されており、諸経費節減にも努めていることから、前期に続いて利益計上を予想しているようである。

先行きについては、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)が大流行し消費心理が委縮されているほか、国内大手製菓会社や輸入ブランドとの販売競争が益々激しくなっており、他社に比べて長寿ブランドが少なく、営業及び流通網が多少劣っていることは今後の改善課題と言えよう。

ただし、内需景気沈滞、原材料価格上昇、為替不安など不透明な経営環境にも関わらず、持続的な製品開発、グローバル企業との技術提携、設備投資を通じて毎年新規製品を発売し大手メーカーと競争し合いながら事業競争力を強化しているうえ、近年持続的に利益を確保し財務面でも健全性を保っていることを勘案すれば、現状の事業維持に大きな問題はないと思われる。

## ■ 財務状態表

### ■ 資産の部

(単位: 千ウォン)

科 目	2017. 12. 31	2018. 12. 31	2019. 12. 31
<b>■ 流動資産</b>	<b>5,590,034</b>	<b>7,241,611</b>	<b>12,468,682</b>
当座資産	5,224,807	6,790,889	11,858,213
現金及び現金等価物	821,810	291,554	4,835,212
短期投資証券	140		
売上債権	4,105,482	6,440,933	6,932,638
短期貸付金	10,000		
未収金	34,872	34,917	74,805
未収収益	17		
繰延法人税資産	228,686	7,506	
前払費用	23,800	15,979	15,558
在庫資産	365,227	450,722	610,469
商品	4,747	6,292	9,383
製品	55,767	84,250	86,706
原材料	263,023	323,078	443,033
貯蔵品	41,690	37,103	71,347
<b>■ 非流動資産</b>	<b>23,309,357</b>	<b>24,920,773</b>	<b>25,839,201</b>
投資資産	5,535,506	6,831,762	7,605,940
長期金融商品	2,500	2,500	2,500
長期投資証券	5,533,006	6,819,262	7,593,440
長期貸付金		10,000	10,000
有形資産	17,221,347	17,542,403	17,714,934
土地	2,484,241	2,484,241	2,484,241
建物	11,460,983	11,628,917	11,115,442
機械装置	3,000,419	3,076,437	3,616,322
車両運搬具			13,421
その他有形資産	235,240	352,808	485,507
建設中の資産	40,464		
無形資産	19,504	13,608	98,327
産業財産権	256	37	
専用施設利用権			92,584
ソフトウェア	19,248	13,571	5,743
その他非流動資産	533,000	533,000	420,000
保証金	533,000	533,000	420,000
<b>■ 資産合計</b>	<b>28,899,391</b>	<b>32,162,384</b>	<b>38,307,883</b>

## ■ 財務状態表

### ■ 負債・資本の部

(単位: 千ウォン)

科 目	2017. 12. 31	2018. 12. 31	2019. 12. 31
<b>■ 流動負債</b>	9,708,356	9,284,790	13,408,110
買入債務	3,938,996	5,807,090	10,600,972
短期借入金	4,400,000	1,000,000	
未支払金	1,031,586	1,985,027	2,236,759
前受金		514	200
預受金	337,774	492,160	512,765
未支払費用			57,414
<b>■ 非流動負債</b>	1,181,631	1,628,381	1,001,974
退職給与引当負債	871,235	1,067,666	135,411
繰延法人税負債	310,396	560,715	743,164
その他非流動負債			123,399
<b>■ 負債合計</b>	10,889,987	10,913,172	14,410,085
<b>■ 資本金</b>	18,800,000	18,800,000	18,800,000
普通株資本金	18,800,000	18,800,000	18,800,000
<b>■ 資本剰余金</b>			
<b>■ 利益剰余金(または欠損金)</b>	-2,626,277	-389,749	2,871,453
処分前利益剰余金	-2,626,277	-389,749	2,871,453
<b>■ 資本調整</b>	-70,212	-70,212	-70,212
株式割引発行差金	-70,212	-70,212	-70,212
<b>■ その他包括損益累計額</b>	1,905,893	2,909,173	2,296,557
売渡可能証券評価利益	689,418	1,692,697	2,296,557
再評価積立金	1,216,475	1,216,475	
<b>■ 資本合計(自己資本)</b>	18,009,404	21,249,212	23,897,798
<b>■ 負債及び資本合計(総資本)</b>	28,899,391	32,162,384	38,307,883

## 損益計算書

スター製菓食品 株式会社

### ■ 損益計算書

(単位: 千ウォン)

科 目	2017. 01. 01～ 2017. 12. 31	2018. 01. 01～ 2018. 12. 31	2019. 01. 01～ 2019. 12. 31
■ 売上高	45,064,655	58,370,499	73,083,102
商品売上	5,610,322	6,310,165	3,900,696
製品売上	39,454,332	52,060,335	69,182,406
■ 売上原価	38,018,129	47,775,691	59,910,650
商品売上原価	5,290,940	5,904,830	3,594,588
製品売上原価	32,727,189	41,870,862	56,316,062
■ 売上総利益	7,046,526	10,594,808	13,172,452
■ 販売費および一般管理費	6,137,237	8,194,700	10,369,921
■ 営業利益	909,288	2,400,108	2,802,531
■ 営業外収益	602,871	634,276	693,227
利子収益	18,182	19,952	35,072
配当金収益	35,660	35,660	35,660
賃貸料収益	363,816	364,345	381,170
手数料収益	119,713	143,885	155,701
貸損引当金の戻入額		2,811	
有・無形・リース資産処分利益			3,125
その他営業外収益	65,500	67,622	82,499
■ 営業外費用	438,047	227,930	68,735
利子費用	408,093	204,465	23,908
寄付金	8,745		
有・無形・リース資産処分損失			13,155
その他営業外費用	21,209	23,465	31,672
■ 法人税費用差減前純損益	1,074,113	2,806,454	3,427,022
■ 法人税費用	-455,849	569,925	704,362
■ 当期純利益(または損失)	1,529,962	2,236,528	2,722,660

■ 販売費及び一般管理費

(単位: 千ウォン)

科 目	2017. 01. 01～ 2017. 12. 31	2018. 01. 01～ 2018. 12. 31	2019. 01. 01～ 2019. 12. 31
給与・賃金	592,086	662,991	613,682
退職給与引当金繰入額	78,638	94,517	67,684
福利厚生費	88,120	116,285	143,270
旅費交通費	19,795	19,959	17,951
通信費	51,528	47,815	46,536
水道光熱費	98,982	118,386	135,221
税金及び公課	1,576	4,143	310
賃借料費用	75,359	82,275	115,819
減価償却費	97,527	95,253	111,411
修繕費	1,314	2,731	3,011
保険料	15,596	16,615	17,229
消耗品	17,899	47,406	59,580
図書印刷費	2,389	3,134	3,652
車両維持費	15,415	20,355	20,124
教育訓練費	10,381	19,842	14,933
手数料費用	157,040	161,568	170,680
接待費	20,051	28,921	28,041
広告宣伝費	99,857	244,572	486,544
運搬費	4,684,029	6,400,137	8,306,377
貸損償却費	1,987		
産業財産権償却	219	219	37
ソフトウェア償却	7,449	7,575	7,828
<b>販売費及び一般管理費合計</b>	<b>6,137,237</b>	<b>8,194,700</b>	<b>10,369,921</b>

資本変動表

スター製菓食品 株式会社

■ 資本変動表

(単位: 千ウォン)

科 目	2017. 12. 31	2018. 12. 31	2019. 12. 31
■ 資本金	18,800,000	18,800,000	18,800,000
前期繰越資本金	18,800,000	18,800,000	18,800,000
■ 資本剰余金			
■ 利益剰余金	-2,626,277	-389,749	2,871,453
前期繰越利益剰余金	-4,156,239	-2,626,277	214,416
当期純損益	1,529,962	2,236,528	2,722,660
その他			-65,622
■ 資本調整	-70,212	-70,212	2,226,345
前期繰越資本調整	-70,212	-70,212	1,622,485
その他			603,859
■ その他包括損益累計額	1,905,893	2,909,173	0
前期繰越その他包括損益累計額		1,905,893	
売渡可能証券評価利益	689,418	1,003,280	
再評価積立金	1,216,475		
■ 資本合計	18,009,404	21,249,212	23,897,798



## ■ キャッシュフロー計算書

(単位: 千ウォン)

科 目	2017. 01. 01～ 2017. 12. 31	2018. 01. 01～ 2018. 12. 31	2019. 01. 01～ 2019. 12. 31
<b>■ 営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>2,496,384</b>	<b>4,686,929</b>	<b>7,808,595</b>
当期純利益(または損失)	1,529,962	2,236,528	2,722,660
現金流出のない費用等の加算	1,914,758	1,745,249	2,007,197
有形・賃貸住宅資産減価償却費	1,596,583	1,494,372	1,495,822
無形資産償却費	7,668	7,794	7,865
その他無形資産償却費	7,668	7,794	7,865
貸損償却費	1,987		
退職給与	308,520	243,083	255,304
有・無形・リース資産処分損失			13,155
法人税費用			210,338
利子費用			8,438
現金流出のないその他費用			16,275
現金流入のない収益等の差引		2,811	12,303
有・無形・リース資産処分利益			3,125
貸損引当金の戻入額		2,811	
利子収益			9,178
営業活動による資産・負債の変動	-948,335	707,963	3,091,041
売上債権の増加(減少)	-717,597	-2,332,639	-491,705
在庫資産の増加(減少)	-75,117	-85,496	-159,746
前払費用の増加(減少)	46,520	7,820	
未収金の増加(減少)	21,662	-45	-39,888
未収収益の増加(減少)	1,809	17	
その他流動資産の増加(減少)			421
移延法人税資産減少(増加)	-228,686	221,180	
買入債務の増加(減少)	544,420	1,868,094	4,793,882
前受金の増加(減少)	-27	514	-314
預受金の増加(減少)	825	2,151	-854
付加税預受金の増加(減少)	-8,831	152,235	21,459
未支払費用の増加(減少)			1,282
未支払金の増加(減少)	352,547	953,441	
その他流動負債の増加(減少)			254,564
退職保険預け金の増加(減少)			-600,000
退職金の支払	-658,697	-46,652	-682,377
移延法人税負債増加(減少)	-227,163	-32,657	
非流動負債の増加(減少)			-5,684
<b>■ 投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-935,594</b>	<b>-1,817,186</b>	<b>-2,264,936</b>
投資活動による現金流入額	70,000	140	124,265
流動資産の減少		140	
短期投資証券の処分		140	
投資資産及びその他非流動資産の減少	70,000		113,000

(単位: 千ウォン)

科 目	2017. 01. 01~ 2017. 12. 31	2018. 01. 01~ 2018. 12. 31	2019. 01. 01~ 2019. 12. 31
保証金の減少	70,000		113,000
有・無形・リース資産の減少			11,265
その他有形、リース資産処分			11,265
投資活動による現金流出額	1,005,594	1,817,326	2,389,201
流動資産の増加	10,000		
短期貸付金の増加	10,000		
投資資産及び非流動資産の増加	113,000		
保証金の増加	113,000		
有・無形・リース資産の増加	882,594	1,817,326	2,389,201
建物、構築物、施設装置の取得		537,330	542,070
機械装置の取得	722,225	1,061,392	1,463,021
車両運搬具の取得			16,434
建設中の資産の増加	40,464		
無形資産増加		1,898	92,584
その他無形資産増加		1,898	92,584
その他有形、リース資産増加	119,904	216,706	275,092
<b>■ 財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-1,500,000</b>	<b>-3,400,000</b>	<b>-1,000,000</b>
財務活動による現金流入額	19,100,000		
流動負債の増加	19,100,000		
短期借入金の増加	19,100,000		
財務活動による現金流出額	20,600,000	3,400,000	1,000,000
流動負債の減少	20,600,000	3,400,000	1,000,000
短期借入金の償還	20,600,000	3,400,000	1,000,000
<b>■ 現金及び現金性資産の増加(減少)</b>	<b>60,791</b>	<b>-530,257</b>	<b>4,543,659</b>
<b>■ 現金及び現金性資産の期首残高</b>	<b>761,020</b>	<b>821,810</b>	<b>291,554</b>
<b>■ 現金及び現金性資産の期末残高</b>	<b>821,810</b>	<b>291,554</b>	<b>4,835,212</b>

## ■ 財務諸表分析表

項目・比率名称及び計算式		2017. 01. 01～ 2017. 12. 31	2018. 01. 01～ 2018. 12. 31	2019. 01. 01～ 2019. 12. 31
安定性	自己資本比率(%) = 資本/総資本 (基準比率)	62.32%	66.07%	62.38%
	流動比率(%) = 流動資産/流動負債 (基準比率)	53.63%	57.22%	56.64%
	非流動比率(%) = 非流動資産/自己資本 (基準比率)	129.46%	120.50%	128.69%
	売上高対借入金比率(%) = 有利子負債/売上高 (基準比率)	129.43%	117.28%	108.12%
		120.02%	121.03%	117.00%
		9.76%	1.71%	0.00%
効率性	総資本回転率(回) = 売上高/総資本 (基準比率)	28.00%	30.09%	27.63%
	棚卸資産回転率(回) = 売上高/棚卸資産 (基準比率)	1.56	1.81	1.91
	売上債権回転率(回) = 売上高/売上債権 (基準比率)	0.96	0.88	0.95
	買入債務回転率(回) = 売上高/買入債務 (基準比率)	123.39	129.50	119.72
	非流動資産回転率(回) = 売上高/非流動資産 (基準比率)	8.38	8.07	8.05
		10.98	9.06	10.54
収益性	売上高税前純利益率(%) = 税前純利益/売上高 (基準比率)	9.29	8.87	9.37
	売上高営業利益率(%) = 営業利益/売上高 (基準比率)	11.44	10.05	6.89
	売上高総利益(粗利)率(%) = 売上総利益/売上高 (基準比率)	13.65	13.39	14.09
	借入金平均利子率(%) = 利子費用/有利子負債 (基準比率)	1.93	2.34	2.83
		1.48	1.31	1.45
		2.38%	4.81%	4.69%
総合指標	総資本税前純利益率(%) = 税前純利益/総資本 (基準比率)	6.17%	10.55%	7.59%
		2.02%	4.11%	3.83%
		5.99%	5.41%	5.63%
		15.64%	18.15%	18.02%
	28.25%	27.55%	27.21%	
	9.27%	20.45%	-	
	2.91%	2.68%	2.90%	
	3.72%	8.73%	8.95%	
	5.93%	9.25%	7.21%	

## 【物 件】

《所有者》 スター製菓食品(株) (ソウル特別市江南区テヘラン路230(駅三洞))

【符号】	【物 件 所 在 地】	【家屋番号】
	【物 件 の 種 類 ・ 構 成】	【面積㎡】
無設定	ソウル特別市江南区テヘラン路230(駅三洞) 宅地	400.00
	2009年06月12日 売買取得	
無設定	ソウル特別市江南区テヘラン路230(駅三洞) 事務室	200.00
	鉄筋コンクリート構造 (鉄筋)コンクリート屋根	250.00
	2階建	
	2009年06月12日 売買取得	
A	大邱広域市西区文化路21ギル(梨峴洞) 工場用地	5,000.00
	2010年04月22日 売買取得	
A	大邱広域市西区文化路21ギル(梨峴洞) 工場	1,000.00
	鉄筋コンクリート構造 平パネル屋根	1,000.00
	3階建	1,500.00
	2010年04月22日 売買取得	

《所有者》 金 成浩 (ソウル特別市龍山区二村路201(二村洞、ハンガラムアパート))

【符号】	【物 件 所 在 地】	【家屋番号】
	【物 件 の 種 類 ・ 構 成】	【面積㎡】
B	ソウル特別市龍山区二村路201(二村洞、ハンガラムア パート) 居宅	108.51
	鉄筋コンクリート造 スラブ屋根	
	地下1階 地上15階建	
	土地敷地権(所有権)持分54,137.00分の32.57	
	2011年05月20日 売買取得	

## 【担保権等の設定状態】

《根抵当権》	A印	2点	登記年月日 設定年月日 債権者 債務者 金額 備考	2010年04月22日 2010年04月22日 ウリ銀行(駅三洞) スター製菓食品(株) 5,000,000千ウォン
《根抵当権》	A印	2点	登記年月日 設定年月日 債権者 債務者 金額 備考	2014年07月16日 2014年07月16日 ウリ銀行(駅三洞) スター製菓食品(株) 2,500,000千ウォン
《根抵当権》	B印	1点	登記年月日 設定年月日 債権者 債務者 金額 備考	2017年05月23日 2017年05月23日 ウリ銀行(駅三洞) 金成浩 500,000千ウォン

以上

不動産登記写の見方

1. 不動産登記写は【物件】と【担保権等の設定状態】に分かれています。
2. 【物件】には所持者、物件所在地（住居表示ではなく登記面所在地）、物件の種類、構成、面積（㎡）、家屋番号などを記載してあります。各物件の左側に付けているアルファベットの符号は、その物件がどのような担保に提供されているかをあらわし、「無設定」は担保設定がないことを示します。また、「差押」「仮差押」がある場合もこの欄に符号を記入します。
3. 【担保権等の設定状況】には抵当権、根抵当権などの担保設定状況を記載しています。どの物件を担保にしているかは、アルファベットの符号点数（記載例A印4点）で確認します。記載例の300百万円の根抵当権は【物件】のA印がついた物件4点が担保になっていることを示しています。
4. なお、管外の共同担保物件は物件所在地、物件の種類（家屋番号を含む）のみを記載しています。

実際の記載例

【物件】

《所有者》 帝国テクノツール（株）（東京都中央区新富1-12-2帝国ビル）

【符号】	【物件所在地】	【家屋番号】
	【物件の種類・構成】	【面積㎡】
無設定	東京都港区南青山 9（一二） 宅地	15.15
A	東京都港区南青山10（一四） 宅地	85.39
A	東京都港区南青山10（一四） 寮	(10-14) 2階 48.55
	木造瓦葺2階建	1階 52.04

《所有者》 管外共同担保物件

【符号】	【物件所在地】	【家屋番号】
	【物件の種類・構成】	【面積㎡】
A	千葉県千葉市美浜区1-21（三）（五） 土地	
A	千葉県千葉市美浜区1-21（三） 建物	(21-3-70)

【担保権等の設定状態】

《根抵当権》	A印	4点	登記年月日	2008年10月11日
			設定年月日	2008年10月4日
			債権者	三井住友銀行（巣鴨）
			債務者	帝国テクノツール（株）
			金額	300百万円
			共同担保目録	て-1900
			備考	